

# 神経理学療法学とは？

日本神経理学療法学会  
副代表運営幹事 大畑光司

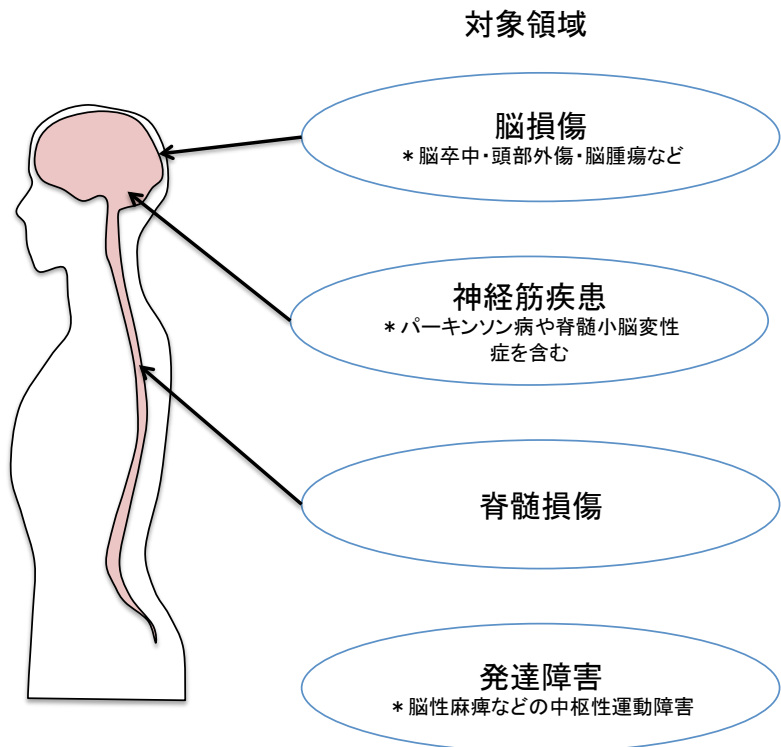
## 1) 神経理学療法とは

- 神経理学療法学とは、神経学的な疾病、障害によって生じる様々な運動機能の問題を改善するための理学療法を探求する学問です。
- この領域におけるリハビリテーション技術は様々な理学療法の中でも、最も重要な柱の一つであり、周辺領域の最先端の知識を踏まえて、日進月歩する領域であると言えます。
- 本分科学会では、神経障害に基づく複合的で幅広い課題について、理学療法の視点に立った基礎研究および臨床研究を推進し、根拠に基づく実践的な理学療法の開発・研鑽と普及および教育の向上を図っています。
- さらに、神経障害に関わる理学療法の発展と、わが国の保健・医療・福祉および国民の健康に寄与することを目的としています。

## 2) 神経理学療法の対象領域

神経理学療法学では、以下の4領域を対象としています。

1. 脳損傷
2. 脊髄損傷
3. 神経筋疾患
4. 発達障害



同じ中枢神経疾患であっても、損傷部位（大脳皮質・脳幹-小脳・脊髄）や発症時期（先天性・後天性）などの違いにより、臨床的な病態は異なります。それぞれの損傷部位に応じて生じる運動障害とそれに対する理学療法を確立することが求められます。

### 3) 神経理学療法学の研究領域

神経理学療法学は、脳科学、バイオメカニクス、運動学習理論など様々な関連知識を背景として行います。このため、多くの領域に関心を深め、他職種や学際的研究が重要となります。しかし単に関連知識を知っているだけでは対象となる方の運動障害の改善に役立てることはできません。たとえ脳科学、バイオメカニクスの研究者で最新の知識を持っていたとしても、対象者に良い介入を提供することはできないからです。これらの知識を基礎に実際に運動障害改善に役立てるための「理学療法学」が最も重要になります。

他領域の研究者と議論する際に重要になるのは、理学療法士の持つ専門性です。

神経理学療法学は理学療法士の最も重要なアイデンティティであると言えます。ぜひ、その学問の創造に参加してください。

